

安曇野日和



連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

オリンピックは1年延期の末に予定通り開催、ただし開催地東京は緊急事態宣言発出中、競技は首都圏の会場では無観客。ありのままを並べ立ててみて、頭の中にはいくつもの？が浮かびます。誰のため、何のための五輪でしょうか・・・。

2013年9月、アルゼンチンで「お・も・て・な・し」のプレゼンにより決定した東京オリンピック。2011年3月の東日本大震災からわずか2年後、深い傷の癒えぬこの時期に、復興を象徴する大会にする、と。果たして開催の年に新型コロナウイルスによるパンデミックに見舞われ、延期が決定した時点では、世界中を恐怖に陥れたこの感染症を克服した証に、と。大義名分は様々あれどいずれも道半ばです。そして無観客での競技では、アスリートファーストということもできません。巨大化し、ビジネス化したスポーツの祭典はもはや誰にもコントロールできない代物になっていったのでした。

とはいいつつも、連日催される静かな競技と一流選手のパフォーマンスをテレビの画面を通して応援することになるのでしょうか。そして、これこそが元祖「リモート」だったのだとハタと気づきました。

表紙写真 写真タイトル：「常念岳登山の岩場」

撮影者：樋口 孝

三郷地域から見上げる常念岳は、とてもきれいな形の前常念岳が見えています。三股から常念岳山頂を目指す登山道の途中に、写真のような大岩がゴロゴロした中の登りが続く険しい岩場があります。ペンキマークを目印に、急坂を数百メートル上りきると前常念岳に到着します。あとは山頂まで続くなだらかな稜線の登山道で、素晴らしい景色と時には雷鳥との対面を堪能する事ができます。

お花見

お花見



小倉病院開院の年に植えられた「ソメイヨシノ」と「山桜」の桜の木も今年で19年目を迎え、見事に成長しました。

例年4月中旬～下旬にお花見をしていましたが、今年は桜の開花が早く、4月の始めにはもう満開になっていました。

各病棟毎に病院敷地内へ散歩に出掛け、それぞれ満開の桜を楽しみました。4月の始めということもあり、外は風が吹くと少しまだ肌寒い気温でしたが、久しぶりの屋外に患者さんも喜んでいました。

患者さんからは、「外に出られて良かった」「涼しくて気持ち良かった」「桜がとてもきれいだった」「いろんな種類の桜があってすごかった」等の感想が聞かれ、皆生き生きとした表情でお話ししてくれました。



映画鑑賞会

6月23日（水）の午前に2-2病棟で、午後に2-3病棟でそれぞれ作業療法の活動として映画鑑賞を行いました。

午前の2-2病棟では患者さんからの要望が多い、「男はつらいよ」を上映しました。6月でちょうど梅雨の時期という事もあり、「男はつらいよ 寅次郎紫陽花の恋」という昭和57年の作品を選びました。男性患者さんからの人気が高く、皆集中して鑑賞されており、「楽しかった」との感想が聞かれました。

午後の2-3病棟では、患者さんからの提案でアニメの「美女と野獣」を上映しました。こちらは女性患者さんから特に好評だったようで、集中して鑑賞されている方が多かったです。

どちらも天井からスクリーンを吊るして、プロジェクターで投影し、迫力のある映像が好評でした。



病院行事 文化祭

5月26日（火）、27日（水）の二日間、体育館にて病院行事の文化祭を行いました。

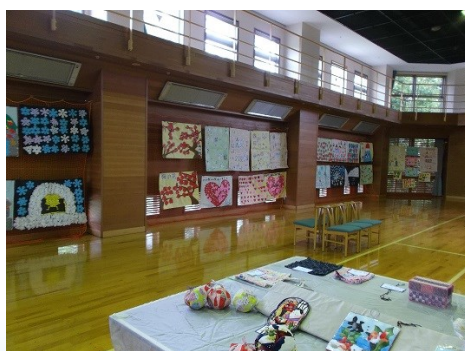
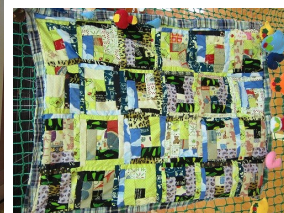
今年の文化祭は、患者さんが作業療法の活動で作った作品の「作品展示」と、来場した患者さんが一人一輪ずつ花を生け、各病棟ごとに生け花を作る「フラワーアレンジコーナー」の二本立てで行いました。

また、今年も感染対策をしっかりと行い、全病棟同時には行わず各病棟毎で行い、他病棟との接触はないようにと工夫し行いました。

体育館の壁には、各病棟で作っている毎月の壁面飾りやカレンダー装飾を飾り、テーブルにはお裁縫や編み物、銅版細工、タイルモザイク、きめこみ細工、手作りの将棋セット等々、沢山の作品が並びました。多くの患者さんが作品に興味を持ち、じっくりと見ていたり、自分の作った作品を職員や他患から褒められて、嬉しそうにしている様子などが見られました。

フラワーアレンジのコーナーでは、普段生花に触る機会がなかなか無い為、手に取って香りを嗅いでみたり、「昔は生け花の先生をしていた」等の話をしてくれる患者さんもありました。

患者さんからの感想は「これを作りたい」「個性のある物を沢山見れて良かった」「作品を作るのは苦手だが、見るのは好き」「花の香りを感じたり、生の花を見る機会になり良かった」「頑張っているね」等聞かれ、作品を展示している患者さんだけでなく、普段作品を作らない患者さんにもいい刺激になったようでした。



ばらの日

6月1日（火）に永年勤続者表彰「ばらの日」が行われました。

今年の受賞者は、勤続30年が2名、25年が3名、15年が1名、10年が6名、5年が4名の計16名が表彰されました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。



また、ばらの日の中で、関健理事長・総長が春の叙勲「旭日小綬章」を受章されたお祝いに、桑村院長より総長にサプライズで「ばら」をプレゼントしました。総長はスピーチで「受章は職員のおかげです」と話されていました。おめでとうございます。



防災訓練

5月26日（水）に防災訓練が行われました。訓練は昼間想定避難誘導、初期消火、通報を含む総合訓練を行いました。

訓練終了後は、富士防災設備の方にご指導をいただき、新入職員を中心とした放水訓練も実施しました。放水訓練が初めての職員は、緊張しながらも真剣に取り組んでいました。



病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 医療介護福祉の連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟200床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私たちは治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103

長野県安曇野市三郷小倉6086-2

TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

城西医療財団HP www.shironishi.or.jp

編集後記

関東甲信越の梅雨明けが発表されました。梅雨の入り、明けには、実は具体的な基準はなく、梅雨明けに関しては、梅雨前線が北上し、先の予想で晴れの日が増えるようであれば、具体的には週間予想で晴れの日が5日以上であれば、梅雨が明けたと判断するそうです。梅雨明けの日に誕生した安曇野日和本号、是非お楽しみください。